

2026年度

S 7

小 論 文

2月25日(水)

情 報 学 部 (情報社会学科)

9 : 30 ~ 11 : 30

【前期日程】

注 意 事 項

試験開始前

- 1 監督者の指示があるまで、問題冊子、解答用紙、下書き用紙に手を触れてはいけません。
- 2 監督者の指示に従って、全部の解答用紙(3枚)に受験番号を記入しなさい。

試験開始後

- 3 この問題冊子は、5ページあります。はじめに、問題冊子、解答用紙、下書き用紙を確かめ、枚数の不足や、印刷の不鮮明なもの、ページの落丁・乱丁があった場合は、手をあげて監督者に申し出なさい。
- 4 解答は、すべて解答用紙に記入しなさい。(下書き用紙と間違わないよう十分注意してください。下書き用紙は採点対象となりません。)
- 5 文字数制限のある解答用紙の記入については、下記の点に留意すること。

- ・書き出しは、一マスあけない。
- ・改行後は、一マスあけない。
- ・句読点及び括弧等は、それぞれ一マス使う。行の末尾については文字と同じ一マスに含める。
- ・小さな文字「っ」「ゃ」「ゅ」「ょ」等はそれぞれ一マスで使う。
- ・英数字は一マスに2文字入れてよい。

- 6 問題は、声を出して読んではいけません。
- 7 配点は、比率(%)で表示してあります。

試験終了後

- 8 問題冊子と下書き用紙は、必ず持ち帰りなさい。

1

近年、ソーシャルメディアの進展などにより、人々の情報収集手段は多様化している。一方で、インターネット上での偽・誤情報の流通は、マスメディアやオンラインメディアへの信頼に関する問題を生じさせている。

図表1から図表3は、日本における情報収集の方法やメディアへの信頼、また、情報の発信源の確認方法に関する国際比較を示したものである。

はじめに、図表から読み取れる日本の若者世代(10代及び20代)の情報収集の傾向を整理したうえで、その傾向にどのような課題が潜んでいるか、あなたの考えを600字以内でまとめなさい。

(配点40%)

図表1 「情報源として欠かせない」とした人の割合(年代別, 2024年)

著作権の関係上、公表しません。

出典：新聞通信調査会「第17回メディアに関する全国世論調査(2024年)」を加工して作成

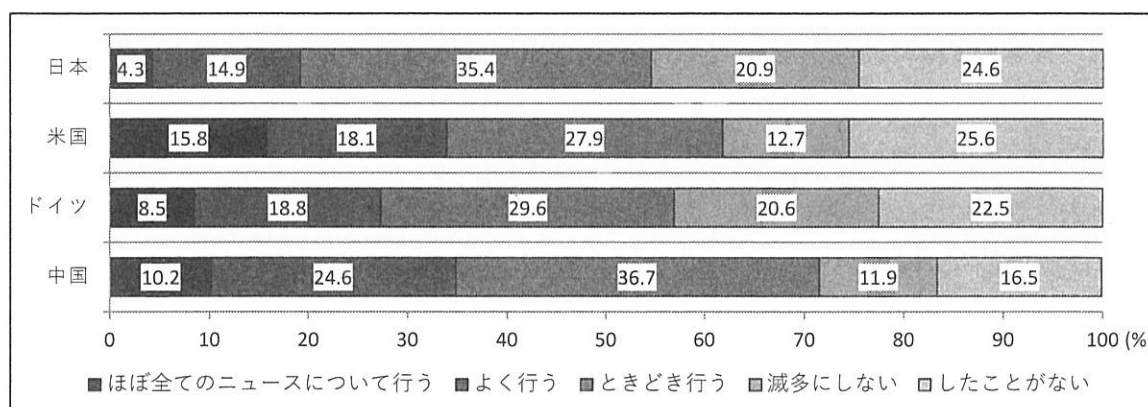
図表2 各メディアの信頼度(年代別, 2024年)

単位：%

		テレビ	新聞	インターネット	雑誌
全年代	全年代(N=1,800)	58.2	59.9	27.0	15.7
年代	10代(N=140)	52.1	57.9	24.3	18.6
	20代(N=218)	46.8	50.0	28.0	17.4
	30代(N=237)	43.5	43.0	29.1	17.3
	40代(N=306)	54.6	54.9	31.7	19.0
	50代(N=330)	63.0	66.4	33.0	15.2
	60代(N=271)	66.4	69.4	22.5	13.3
	70代(N=298)	72.1	71.1	18.5	11.4

出典：総務省「令和6年度 情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査」を加工して作成

図表3 情報の発信源(組織や人物)の確認頻度(国別, 2025年)



出典：総務省「国内外における最新の情報通信技術の研究開発及びデジタル活用の動向に関する調査研究の請負成果報告書」(2025年)を加工して作成

注：図表3は各国ともに20代から60代を対象とした調査の結果である。

2

次の文章は『社会は「私」をどうかたちづくるのか』(牧野智和著, 筑摩書房, 2025年)の一部である。よく読んであとの問いに答えなさい。なお, 問題作成のために文章を一部改変した。

(配点 60%)

著作権の関係上、公表しません。

著作権の関係上、公表しません。

著作権の関係上、公表しません。

- 問 1 「確たる真実があるという認識が揺らいでいる「ポストモダン」と表現される社会的状況」という一文がある。ここで筆者の整理している「ポストモダン」とはどのようなことか、200字以内で説明しなさい。
- 問 2 あなたはオンライン・コミュニケーションと自己の関係性をどのように考えるか。本文を適宜引用し、あなたの経験を含ませながら400字以内で述べなさい。